

市政に対する一般質問

(令和8年3月18日)

◎質問1番

13番 佐藤 隆一

1 効率・集中・コスト優先から環境・分散・共生への移行について

- ① 小千谷は、エネルギーや食など生存条件豊かな自然環境に恵まれた自治体ですが、最近持続可能ということが盛んに言われるようになっています。田園都市小千谷市が、気候変動にともなう環境の変化に適応するための重要な政策として、ゴミ排出ゼロを目指す環境都市宣言の採択など、環境田園都市として、自治体の方向を目指すことを明確にすることが必要です。
 - ・新焼却場の建設に向けた基本構想をつくるにあたって、市民・企業・団体などの考えを盛り込んだ全市民参加型のものとするのが大変重要ではないでしょうか。市長の見解をお聞きいたします。
 - ・環境都市としての重要な指標の一つに、ゴミ排出量の削減やリサイクル率の向上は大変重要です。現状と今後の施策の改善について市長の見解をお聞きいたします。
- ② 自然エネルギーの資源という観点から見ると、小千谷は豊かな資源を持っています。しかし、豊かな宝を活かしきれていないのが現状です。例えば、再生可能エネルギー発電量の占める割合は、568MWH（0.3%）でしかないのが現状です。再エネ設備設置数も県内自治体の下位を低迷しています。

思い切った投資を企業などとの連携で進める環境が整いつつあるのではないかと思います。市長の考えをお聞きいたします。
- ③ 資源では銅の価格が急騰しています。エネルギー問題一つを考えても、地球規模での環境の影響を強く受ける時代です。環境田園都市としての小千谷市の存在感を一気に高める時代環境が開けているのではないのでしょうか。市長の見解をお聞きいたします。

◎質問2番

7番 阿部 守男

1 当市における公募型プロポーザルについて

- ① 公募型プロポーザルにおける審査結果
- ② 審査基準・評価プロセスの明確化
- ③ 公募型プロポーザルの運用改善・フィードバック体制

1 市民と行政とをつなぐ情報共有体制のDX化について

① 町内会の現状について

- ・特に、役員のなり手不足、役員の固定化、班長による配り物の多さなどの諸課題について、行政としてどのように認識しているか。
- ・町内会や自治会の加入率について。近年の傾向や、集合住宅やアパート、公営団地など転出、転入の機会が多くなると予想される地域では、加入率に変化は見られるか。また、市内でも増加傾向にある外国人労働者の町内会への加入状況は。

② 回覧板の現状とデジタル回覧板の導入検討について

- ・回覧板の閲覧率や回覧率、一回りするまでの所要時間について、客観的なデータや当事者の意見は把握しているか。把握してなければ、効率的、効果的に運用されているのか調査が必要ではないでしょうか。ご見解を伺います。
- ・回覧板や配り物に関する作業への負担感や非効率感から、選択肢としてデジタル回覧板の活用や併用などを望む声も一定数あるものと認識しています。将来的な負担軽減に向けて、デジタル回覧板の活用や併用を検討する町内会があるか、ぜひ調査していただきたいと思います。ご見解を伺います。
- ・回覧板をはじめとする情報共有体制のデジタル化による負担や手間の削減と合わせた町内会の担い手不足への対応として、若い世代の町内会活動への参加を促す面も狙い、デジタル回覧板やデジタルでの情報共有について戦略を立てて取り組みを加速してはどうでしょうか。ご見解を伺います。

③ 緊急告知ラジオについて

- ・緊急告知ラジオは、導入から10年以上が経っていますが、導入当初と現在を比較すると、社会変化も踏まえれば、事業効果は薄れつつあるのではないか。
- ・転入の際にはこの緊急告知ラジオを設置、転出の際には返却することとなっているが、その状況は。現在も適切に行われているのか。
- ・緊急告知ラジオによる情報伝達の事業的役割は見直しの時が来ていると感じるが、どのように認識しているか。

④ 小千谷市の公式情報共有について

- ・小千谷市の公式SNSアカウントや公式LINEの登録状況と登録目標は。
- ・広報おぢやはPDF版でも閲覧ができる。全戸配布しているが、PDF版の閲覧状況はどうか。今後、デジタルベースでの閲覧も

伸ばせるのでは。ご見解を伺います。

- ・ 今後、地域外の未来づくりアンバサダーなど関係人口の層とどのように直接つながるか、戦略的な観点からICTやDXの取り組みをどのように組み合わせしていく方針か、ご見解を伺います。
- ・ 今後、国において制度化されるふるさと住民制度に向けて、市内に住所を要しないが住民と同じレベルでの情報共有を必要とする層が出てくることが予想されます。デジタル回覧板のアプリ導入の検討と合わせて、このふるさと住民登録制度の活用、スタートダッシュの成功に向けた調査研究に力を入れていただきたいと考えますが、ご見解を伺います。

◎質問4番

1番 廣井良宣

1 再生可能エネルギーの利用促進について

① 地中熱利用

- ・ 今後の取り組みについて
- ・ 支援策等について
- ・ 井戸掘削について
- ・ 地中熱ヒートパイプの導入について

② ペロブスカイト太陽電池

- ・ 導入について

2 GX戦略地域について

① 脱炭素化の必要性と次世代の雇用について

② GXへの挑戦を通じた当市の将来像について

◎質問5番

8番 内山博志

1 水道水の混濁改善について

- ① 市内で水道水の混濁等で苦情はどの位あるか。その原因についてどのように解明されているか。
- ② 現在その対策としてとられている方法はどのようなものか。利用者はその対策、結果に満足しているか。
- ③ 現在、苦情の上がっている山谷地域の一部で検出されているシールコートを一掃を早急に除去すべく洗管、配水管の入れ替えなど行うべきでは無いか、市長のお考えを伺う。

2 住民検診の受診場所と人間ドック費用の負担軽減について

- ① 高齢者、障害者の利便性を考慮した検診場所の配置、送迎などを考えるべきではないか、市長に伺います。

② 人間ドックの自己負担額の高齢者負担の軽減を進めるべきと思いますが市長のお考えを伺います。

3 市内小中学校再編計画策定などについて

① 学校を地域コミュニティの核として重視することも重要です。再編に当たりどうお考えか、伺います。

② 学校規模が大きくなると不登校生徒が多くなる傾向が指摘されているが、まずは、「学びの多様化学校」に頼らないことが大切と考えるが、学校再編に当たり不登校の子供を出来るだけ出さないという観点が大切と考えますが教育長のお考えを伺います。

③ 教員のなり手不足は教職員の働き方が過酷なことも指摘されています。国に対して教育予算の拡充で教職員の増員、働く環境改善を求める必要があるのではないか、お考えを伺います。

◎質問6番

5番 高木健太

1 行政運営における業務過多への対応と判断の質を確保するための考え方について

① 行政運営における「過負荷状態」の把握と現状認識について

② 業務過多が行政事業の判断や検討に与える影響について

③ 事業の整理・優先順位づけを行うための考え方と仕組みについて

④ 事業の見直しや整理を進める際の、現場への配慮について

⑤ 人材育成・業務の引き継ぎ・ノウハウの蓄積に関する現状と課題について

⑥ 定年期職員の経験・知見を、組織として活かすための制度運用について

⑦ 今後の行政運営における業務過多・過負荷への向き合い方について

◎質問7番

10番 住安康一

1 令和8年度の予算及び施策の考え方について

① 令和7年度は未来のために蒔いた「希望の種」が芽を出しつつあるとしていますが、確認の意味で「希望の種」は、どのような種をまいたのか、どのような芽が出つつあるのか、伺う。

② 令和8年度は新たなステージへとして4つのステージを設定し、「希望の芽」が育ち、つながり、好循環が回りだす年にとあるが、どのようなことなのかを伺う。

③ 令和8年度は高齢者対策をどのように充実・発展させていくのか

伺う。

- ④ GX産業団地の概要をお聞きするとともに、GX戦略地域の選定に向けた申請を通じて採択されたのち、今後どのような小千谷のまちづくりをしようとしているのか伺う。

2 高齢者等への買い物支援について

- ① 高齢者等への買い物支援に関して、本市としてはどのような課題があるのかについての認識を伺うとともに、私の提案を参考にしていただき、本市として中長期的に見たときに買い物に困る人を出さないための高齢者等への買い物支援の在り方を、どのように考えているのか伺う。

市政に対する一般質問

(令和8年3月23日)

◎質問8番

14番 久保田 陽 一

1 地域医療体制について

- ① 厚生連小千谷総合病院と双壁をなす地域医療の重要な役割を果たす診療所（個人医院）について、宮崎市長の考える診療所（歯科医院も含む）の役割と課題とは。
- ② 診療所開設支援事業拡充の経緯と内容について伺う。（令和3年度の開始時と何がどのように変わったのか）また、現在の要綱で、市内において特に充実する必要がある診療科として小児科、皮膚科、泌尿器科、精神科及び出産を取り扱う産婦人科とあるが、ここに整形外科の追加が必要では。要綱にある5年以上診療を継続する意思を有するについては5年ではなく10年にすべきと思うが見解は。
- ③ 現状確認として、本市には診療所15医院と歯科医院が12医院あるが、本市の人口と同様な3～4万人あたりの診療所数は、県内外他市と比較してどのような推移にあるか。
- ④ 事業継承への公的関与について。担当課では市内既存診療所の医師の平均年齢と今後5年以内に閉院リスクがある診療所や歯科医院を把握しているのか。ハードとしての開院補助金もいいが、ソフトとして廃業予定の診療所と、開院希望の医師をマッチングする「医業承継支援」に市が主体的に関与すべきと思うが見解は。
- ⑤ 診療所開設支援を『市内全域一律』で行うのは非効率ではないか。例えば、特定の診療科が欠落しているエリアに限定して『上乘せ補助』や『固定資産税の減免措置』を行うなど、戦略的な誘導を行うべきでは。また、診療所を作ったとしても、利用者（特に高齢者）がそこへ辿り着くためのデマンド交通との連携がセットでなければ、支援事業としての費用対効果（ROI）が低いのではないか。都市計画や交通政策とセットでの施策の検討が必要と思うが見解は。
- ⑥ オンライン診療を支援対象に含めるべきでは。市内の既存診療所が『サテライト』として遠隔診療を行うための設備導入や、看護師が自宅を訪問して医師と繋ぐ『D to P with N（医師-患者-看護師）』モデルの構築こそ、現在の支援事業に組み込むべき。「診療所＝建物」という行政の固定観念を捨て、低コストで高効率な次世代型の医療支援策も必要では。

- ⑦ 医師の「QOL（生活の質）」と「教育環境」について。
本市独自の魅力(移住支援等)との連動は検討しているのか。また、単なる金銭的支援だけでなく、若手医師が『この街で開業したい』と思える事務的・環境的サポートが必要ではないか。(空き家やマンションなど住居に対する支援など)
- ⑧ 厚生連小千谷総合病院、(一社)小千谷市魚沼市医師会、そして既存診療所との連携や関係構築は。
- ⑨ 医師の誘致及び確保について具体的にどのような働きを行っているのか。
- ⑩ 「補助金の額だけを競うのではなく、『小千谷でなら、理想の地域医療ができ、家族とともに幸せに暮らせる』という伴走型の支援体制(コンシェルジュ機能)を構築すべき！」と強く思うが市長の見解は。

◎質問9番

12番 森本 恵理子

- 1 原子力防災対策の実効性と市民の安全確保について
 - ① 市民への周知と避難行動の具体的理解について
 - ② 屋内退避・避難時の生活確保策について
 - ③ 住宅の気密性と屋内退避の質的向上について
 - ④ 避難計画と交通シミュレーションの現実性について
 - ⑤ 要望事項の進捗管理と具体化について
- 2 雪とともに生きるまちづくりについて
 - ① AI・データ活用による効率的な除雪体制の構築について
 - ② 新たな融雪システムと住まいづくりについて見解
 - ③ 雪との関わり方の継承と「雪育」について
- 3 給食の質の向上と無償化について
 - ① 中学生及び未就学児における給食費無償化について
 - ② 給食の質の維持・向上と地産地消の深化について
 - ③ 「学びの多様化学校」における食の保障について

◎質問10番

11番 駒井 和彦

- 1 激甚化する豪雪への実効性ある対策と除雪体制の持続可能性について
 - ① 短期間のドカ雪時の情報発信体制の強化について
 - ② 除雪DXの導入加速について
 - ③ 冬季間のマイクロバス運行について
 - ④ 豪雪時の消雪パイプ路線の早期拡幅等について

- ⑤ 雪下ろしのより実効性の高い支援策について
 - ⑥ 耐雪・落雪式屋根や融雪式屋根の設置・改修に対する補助の拡充について
 - ⑦ 雪版毎タイムライン作成の全世帯への推進について
 - ⑧ 災害救助法の「隙間」を埋める市独自の支援について
 - ⑨ 雪下ろし担い手確保の具体的施策について
 - ⑩ 雪下ろし担い手維持の為の具体的施策について
 - ⑪ 将来の除雪労働力への依存度を下げるロードマップについて
- 2 J A新潟厚生連小千谷総合病院の経営維持と地域医療確保について
- ① 現在の病院の経営実態及び厚生連全体の中での現状分析と認識について
 - ② 地域医療連携推進会議の現状や新たな議論について
 - ③ みんなで地域医療を守ろう！2025の総括と今後の展開について
 - ④ 4Dエコー等産科医療機器の導入成果等について
 - ⑤ 同上機器の導入経緯と経営支援について

◎質問11番

9番 上村行雄

- 1 大雪時の対策と対応について
- ① 井戸の水位に対する維持管理について
 - ② 地下水の適正利用と保全などの条例化について
 - ③ 雪おろし支援の町内単位での仕組みづくりと組織化へ支援の必要性について
 - ④ 災害救助法適用後の現状把握と対応や課題について
- 2 選挙権の行使と投票環境について
- ① 悪天候下での公営掲示板設置に対する安全性と公平性確保への対策と今後の選挙へ適用されるべき事例の有無について
 - ② 高齢者・要支援者等が投票権の確実な行使や保障のため投票所の開設場所や運営についての対応と方向性について
 - ③ 投票率向上のための啓発活動や小中高校生への主権教育の内容と効果について
- 3 東京電力柏崎刈羽原発再稼働に対する影響について
- ① 東京電力が県に拠出予定の金額に対する当市への使途内容や要望について
 - ② 国に対して電源三法交付金の不公平性や不合理などへの改善要望と優先される内容について
 - ③ 商工会議所より提出の重点要望事項への具体的な回答について

◎質問 1 2 番

6 番 平 澤 智

1 特定地域づくり事業協同組合設立について

2020年6月から始まった特定地域づくり事業協同組合に対して
当市としての所見をお伺いしたい。同組合は地域人口の急減に直面して
いる地域において、地域社会及び地域経済の重要な担い手である地域づ
くり人材が安心して活躍できる環境の整備を目的として設立される組
合であります。

- ① 事業者側からの観点での組合に対して所見
- ② 労働者側からの観点での組合に対しての所見
- ③ 地域全体の活性化の可能性の観点からの所見

◎質問 1 3 番

3 番 和 田 忠 篤

1 学びの多様化学校「小千谷中学校上ノ山分校」の開校と今後の不登校
支援について

- ① 受入れ状況の現状と今後の方向性
- ② 定員30名の考え方と適正規模
- ③ 伴走支援体制と専門性の確保
- ④ 通学や昼食への配慮と支援策
- ⑤ 在籍後の様子の把握と支援
- ⑥ 開校後の検証方法と改善の考え
- ⑦ マイルームとの役割整理と連携
- ⑧ 進路支援の進め方と体制づくり
- ⑨ 医療福祉と連携した支援体制
- ⑩ 小学部の可能性と今後の展望